

## 令和 4 年度昭島市障害者地域支援協議会（専門部会）の取組目標について

専門部会名称	こども支援部会			部会 委員数	9人
部会目標	障害のある子ども達とその保護者への支援				
部会長 副部会長	部会長名	宮 寄 明 美			
	副部会長名	森 川 昌 子、小 澤 五 穂 子			
主な部会 構成員	保護者、相談支援事業所職員 ヘルパー事業所職員、スクールソーシャルワーカー、社会福祉協議会職員、サポートスクール職員				
令和4年度 取組目標	障害のある子ども達とその保護者のニーズに寄り添い、人権が尊重され、安心安全な生活の中で、持てる可能性を十分に伸ばすことのできる支援の在り方を考える。				
令和4年度取組目標の達成に向けた方法や活動内容等	1. 障害の特性に配慮したワクチン接種のため担当課との意見交換 2. 放課後デイサービス事業所へのアンケート結果を基に、地域の課題について話し合える「放デイ連絡会」のような交流の場を設ける準備を進める。 3. 教育福祉総合センターの相談窓口の現状を把握する。 4. 障害がある子どもの保育園の受け入れ状況、加配について状況把握するため担当課と意見交換				
開催日程 ・ 内容	4月		10月	放デイ事業者の交流会についての準備	
	5月	今年度の活動内容について検討	11月	教育福祉総合センターの相談窓口の現状把握（相談支援部会と合同）	
	6月	全体会	12月		
	7月	定例会	1月		
	8月	ワクチン接種のため担当課と意見交換	2月	放課後デイ連絡会を実施	
	9月	定例会 保育園の担当課と意見交換	3月	今年度の振り返り及び来年度の取り組みについて	
全体会での 協議予定事項				協 議 予定時期	年 月 頃
備 考					

専門部会名称	自立生活支援部会			部会 委員数	20人
部会目標	障害のあるすべての人のニーズに寄り添って、その人らしい地域生活が実現できるように、ライフステージに沿ってトータル的に生活支援の充実を図ることを目的とする				
部会長 副部会長	部会長名	加藤 治男（社会福祉法人滝乃川学園グループホームベアーの家）			
	副部会長名	祝 和子（社会福祉法人きょうされんリサイクル洗びんセンター） 新井 真美（社会福祉法人きょうされんリサイクル洗びんセンター）			
主な部会 構成員	ホームヘルパー・介護支援専門員・生活介護事業所支援員・グループホーム世話人・短期入所事業所支援員・医療相談員・包括支援センター相談員・昭島市社会福祉協議会職員・地域活動支援センター相談員・昭島市障害者相談支援センター相談員・特別支援学校教諭				
令和４年度 取組目標	・ 障害福祉事業所の人材確保 ・ 昭島市移動支援事業の報酬の改定（基本報酬の増額・早朝と夜間の加算）及び要綱の改正（身体障害がある方を対象とする） ・ 知的障害がある方の余暇活動の支援 ・ 地域生活支援拠点の整備と基幹相談支援センター設置 ・ 新型コロナウイルスについての情報共有				
令和４年度取組目標の達成に向けた方法や活動内容等	・ 地域支援協議会全体会のプロジェクト等の活動に引き続き参加する。 ・ 移動支援事業の報酬や内容について部会で検討し、市に対して要望する。 ・ 知的障害がある方の日中活動終了後や週末等の余暇活動支援について、どのような形で実現できるか検討する。 ・ 地域生活支援拠点等の整備と基幹相談支援センター設置について、部会でも議論していく。 ・ 新型コロナウイルスへの対応等について各事業所と情報共有していく。				
開催日程 ・ 内容	4月		10月		
	5月	コア会議（５月20日）	11月	コア会議	
	6月	第１回部会全体会（６月21日）	12月	第３回部会全体会	
	7月		１月		
	8月	コア会議	２月	コア会議	
	9月	第２回部会全体会	３月	第４回部会全体会	
全体会での協議予定事項	・ 昭島市移動支援事業の報酬の改定及び要綱の改正		協 議 予定時期	〇〇 年 月頃	
備 考	専門部会はオンライン会議で実施する。その後の開催方法については、新型コロナウイルス感染症の状況をみて検討する。				

専門部会名称	相談支援部会			部会 委員数	19人
部会目標	部会で抽出した課題の解決に向け、具体策を他専門部会と連携して地域支援協議会に提案する。				
部会長 副部会長	部会長名	渡辺 おりえ			
	副部会長名	山口 景子・宮越 康子			
主な部会 構成員	昭島市障害者福祉課、相談支援事業所、地域包括支援センター、社会福祉協議会、たかつきクリニック				
令和4年度 取組目標	① 地域課題解決への具体策の検討 ② 基幹相談支援センターができることを想定して、今できることを試行する。 ③ 障害児の相談支援について現状を学習し、支援体制を表にまとめる。 ④ 委員でテーマを決めて学習会をする。				
令和4年度取組目標の達成に向けた方法や活動内容等	① 事例検討会を開催し地域の課題抽出、整理を行う。 ② 機関の連携、チーム作りについて学習する。 ③ 子ども支援部会と協力して昭島エンシスの説明を聞く。障害児の成長段階における支援体制を表にまとめる。 ④ テーマを設けて学習会を行う。				
開催日程 ・内容	4月		10月	相談支援部会 事例検討・地域課題の抽出	
	5月	相談支援部会 今年度の方針・部会員紹介	11月	相談支援部会 アキシマエンシス説明会（予定）	
	6月	相談支援部会 事例学習	12月	相談支援部会 事例検討・地域課題の抽出	
	7月	相談支援部会 課題検討	1月	相談支援部会 学習会	
	8月	相談支援部会 事例検討・地域課題の抽出	2月	相談支援部会 事例検討・地域課題の抽出	
	9月	相談支援部会 学習会	3月	相談支援部会 今年度のまとめ・来年度体制	
全体会での 協議予定事項				協 議 予定時期	〇〇 年 月頃
備 考	講師謝礼が必要な可能性があります。				

専門部会名称	防災部会		部会委員数	14人
部会目標	昭島市から死者を出さない			
部会長 副部会長	部会長名	吉澤 孝行(自立生活センター・昭島)		
	副部会長名	西川 澄(昭島市視覚障害者協会)		
主な部会 構成員	昭島市内当事者・家族、相談事業所、自治会連合会、民生委員会 昭島消防署、昭島市防災課・福祉総務課・障害福祉課等			
令和4年度 取組目標	昭島市から死者を出さない			
令和4年度取組 目標の達成に向 けた方法や活動 内容等	①総合防災訓練の参加 11月 場所 未定 ②学校避難所運営委員会へ当事者・家族・事業所の参画と情報共有 ③昭島市避難行動要支援者避難プランについて ④福祉避難所の位置づけと運営方法について ⑤要配慮者支援の先行事例について			
開催日程 ・内容	4月	2022年度活動内容の検討		
	6月	前年度活動報告の検討 昭島市避難行動要支援者避難プランについて 学校避難所運営委員会へ当事者・家族・事業所の参画と情報共有		
	8月	昭島市避難行動要支援者避難プランについて 学校避難所運営委員会へ当事者・家族・事業所の参画と情報共有		
	10月	総合防災訓練について 福祉避難所の市の考え方について		
	11月	総合防災訓練に参加		
	12月	先行事例についての学習 学校避難所運営委員会へ当事者・家族・事業所の参画と情報共有		
	2月	学校避難所運営委員会全体会 学校避難所運営委員会へ当事者・家族・事業所の参画と情報共有		
全体会での 協議予定事項	学校避難所運営委員会へ当事者・家族・事業所の参画と情報共有		協議予定時期	
備 考	残された課題 要支援者名簿と要支援者全体計画・個別支援計画の作成の均一化 在宅避難者への施策・集団生活に不向きな方への配慮 公的施設・民間施設の活用（ホテル・旅館、公的宿泊施設等） コロナウイルス禍の下での避難行動の変化			

専門部会名称	就労支援部会			部会 委員数	10人
部会目標	障害のあるすべての人の就労ニーズに寄り添い、その人らしい就労生活の実現のためにライフステージに沿ったトータルの就労支援の充実を図ることを目的とする。				
部会長 副部会長	部会長名	長谷川 京子（就労支援センタークジラ）			
	副部会長名	日向 弘樹（食工房ゆいのもり）			
主な部会 構成員	市内障害福祉事業所職員、医療関係者、特別支援学校教諭、特例子会社会社員				
令和4年度 取組目標	① 障害者雇用促進や職場体験の機会が得られるよう、昭島市商工会等と連携し、地域の資源を開拓していく。 ② 市役所実習の対象者について現状の確認を行い、実施方法について検討を行う。				
令和4年度取組目標の達成に向けた方法や活動内容等	取組目標に提示した内容を構成員らと相談し、検討していく。 昭島市商工会の方へ当部会の活動を知ってもらい、地域企業へアプローチの手段を検討・実施していく。年間3回程度の部会開催を予定するため6月の部会で決定する。				
開催日程 ・内容	4月		10月		
	5月		11月		
	6月	商工会員へチラシ配布	12月		
	7月	部会	1月		
	8月		2月		
	9月		3月		
全体会での 協議予定事項	現在のところなし			協 議 予定時期	年    月頃
備    考					

専門部会名称	当事者部会		部会委員数	8人
部会目標	障害者の社会完全参加と差別のない社会をめざす			
部会長	部会長名	三原 恭明（昭島市聴覚障害者協会）		
副部会長	副部会長名	宮寄 明美（支援を必要とする子の親の会）		
主な部会 構成員	深井 葉子（昭島市身体障害者福祉協会） 吉澤 孝行（C I L昭島） 大野 渉（きさらぎの会） 出口 泰子（肢体不自由児の親の会） 西川 澄（視覚障害者協会） 横山 貴代（肢体不自由児の親の会）			
令和4年度 取組目標	1. 障害者が暮らしやすい昭島をめざし、障害者差別解消の推進を図る。 2. すべての障害者が参画できる企画および環境づくりをする。 3. 障害者の視点による権利および権利擁護の意識を高める。 4. 障害者の日常生活の質向上（QOL）を図る。 5. 第6期障害福祉計画履行を求め、進捗状況を確認する。 6. 障害者・健常者相互の理解を深めるために必要なことを模索し実施する。			
令和4年度取組目標の達成に向けた方法や活動内容等	1. 障害者の生活の質向上（QOL）を図るために必要な活動を行う。 2. 障害者同士の理解と意思疎通を深め、全障害者が参画できる部会をめざす。 3. 障害者の視点から権利と権利擁護についての学習を行う。 4. 障害者・健常者相互に理解を深めるための活動を行う。 5. 障害者交流の場設定の活動を行う。			
開催日程 ・内容	4月	定例活動 （第1回会議）	10月	定例活動
	5月	定例活動（第2回会議） （障害福祉課課長懇談）	11月	定例活動
	6月	定例活動（第3回会議）	12月	定例活動
	7月	定例活動	1月	定例活動
	8月	定例活動	2月	定例活動
	9月	定例活動	3月	定例活動
全体会での 協議予定事項			協議 予定時期	〇〇 年 月頃
備考				